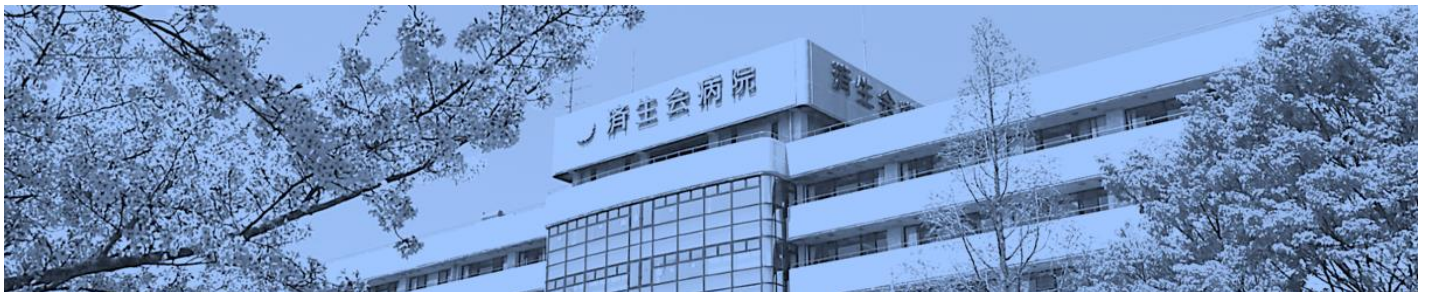


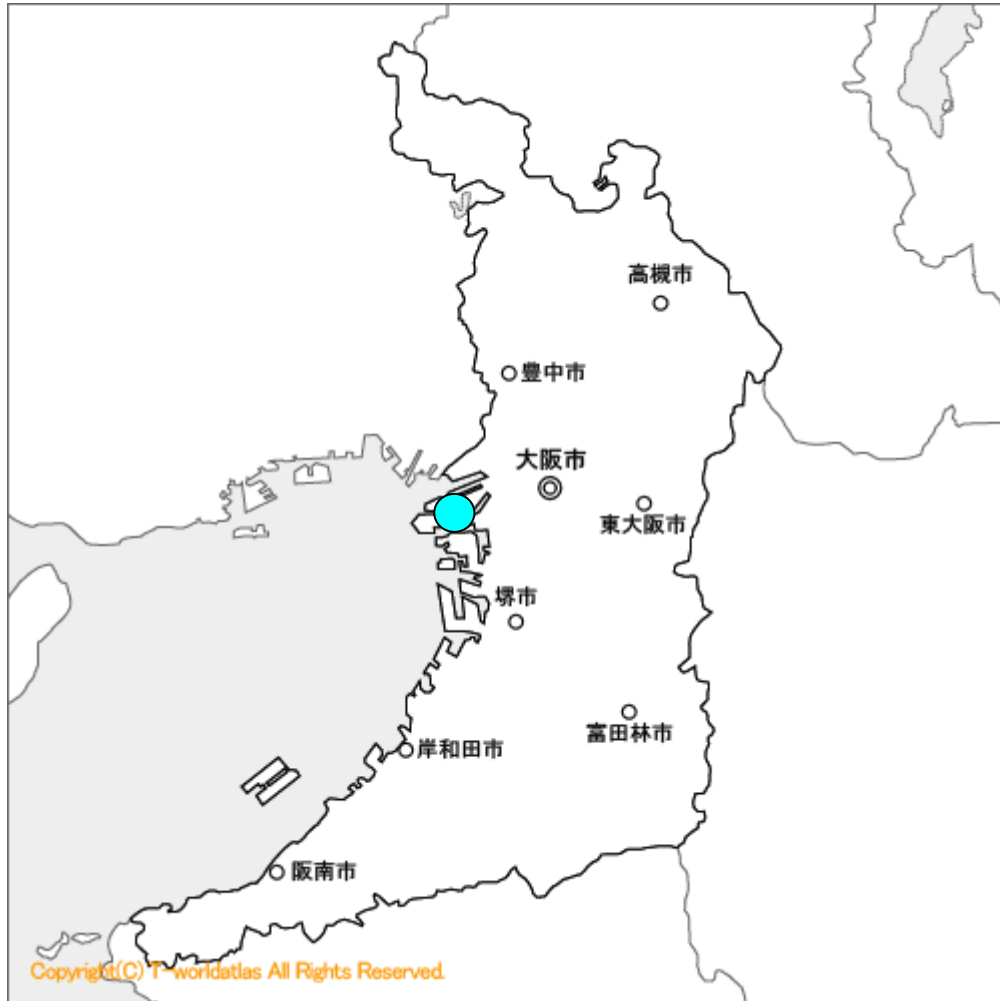
大阪府済生会泉尾病院群 プログラム 2020



2020 年度

社会福祉法人^{恩賜}財団_{大阪府}済生会泉尾病院

アクセス



所在地： 大阪市大正区北村 3-4-5

JR 大阪環状線「大正駅」 または 地下鉄鶴見緑地線「大正駅」 より

「大正駅」→大阪市バス（10分）→「大正区役所前」→徒歩（6分）→当院

「大正駅」→大阪市バス（10分）→「新千歳」→徒歩（3分）→当院

「大正駅」→タクシー（5分）→当院

プログラムの概要

1. プログラムの名称

名称： 大阪府済生会泉尾病院群プログラム 2020
番号： 030545303
定員： 3名

2. プログラムの理念・目標

① 基本理念

医師が医師としての人格を涵養し、将来専門とする分野に関わらず、医師及び医療の果たす役割を認識しつつ、一般的な診療において頻繁に関わる負傷又は疾病に適切に対応できるよう、プライマリ・ケアの基本的な診療能力の修得を目指すものである。

② 到達目標

医師は、病める人の尊厳を守り、医療の提供と公衆衛生の向上に寄与する職業の重大性を深く認識し、医師としての使命の遂行に必要な資質・能力を身に付けなくてはならない。医師としての基盤形成の段階にある研修医は、基本的価値観を自らのものとし、基本的診療業務ができるレベルの資質・能力を習得する。そのため、以下の項目を到達目標（「臨床研修の到達目標、方略及び評価」の「I 到達目標」に準拠）として掲げる。

A 医師としての基本的価値観（プロフェッショナリズム）

- 社会的使命と公衆衛生への寄与
- 利他的な態度
- 人間性の尊重
- 自ら高める姿勢

B 資質・能力

- 医学・医療における倫理性
- 医学知識と問題対応能力
- 診療技能と患者ケア
- コミュニケーション能力
- チーム医療の実践
- 医療の質と安全の管理
- 社会における医療の実践
- 科学的探究
- 生涯にわたって共に学ぶ姿勢

C 基本的診療業務

- 一般外来診療
- 病棟診療

- 初期救急対応
- 地域医療

3. プログラムの特色

本院は、地域密着型の基幹病院であり、急性期病棟を中心に回復期リハビリテーション病棟など多様な機能を持つ病棟で構成されている。このため、入院医療ではチーム医療の一員として病期・病状に応じた診療経験が得られ、急性期医療から退院までのプロセスを学ぶことができる。また、救急外来を含む外来診療ではコモンディーズに接する機会が多い。加えて、地域診療所との繋がりにより、医療の機能分化や診療連携のあり方を学ぶと共に、在宅医療にも関与する機会も得られ、訪問看護師など多職種と接触する機会が生じる。この過程を通して、地域包括ケアシステムを含む地域医療の全体像を知ることができる。

4. カリキュラム

① 研修分野

2年間の研修期間の中で、内科：32週、救急：12週、地域医療：4週、外科：12週、小児科：4週、産婦人科：4週、精神科：4週、一般外来：4週を必修科目とする。このうち、救急においては、4週のまとまった研修期間を設け、残り8週分は週1回程度の救急当直を通年で実施することで研修期間に代える。地域医療においては、一般外来・在宅医療及び慢性期・回復期病棟での研修を含め、2年目に実施する。一般外来においては、一般内科及び一般外科の研修期間中に並行研修として実施し、特定の症候や疾病に偏ることのないよう原則として初診患者の診療及び慢性疾患の継続診療が行えるように配慮する。また、協力型臨床研修病院での研修期間は、研修医1人当たり8週以上とする。

<プログラムの概要>

区分	分野	形式	期間	施設
必修	内科	ブロック	32 週	大阪府済生会泉尾病院 総合内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、腎臓内科、 糖尿・内分泌科
	外科	ブロック	12 週	大阪府済生会泉尾病院 一般外科、消化器外科、呼吸器外科、血管外科、脳神経外科、 整形外科
	一般外来	並行	4 週	大阪府済生会泉尾病院 総合内科・一般外科の研修中に実施する
	救急	ブロック	4 週	関西医科大学総合医療センター（守口市） 関西医科大学附属病院（枚方市） 救命救急センター
		並行	8 週	大阪府済生会泉尾病院 救急外来
	小児科	ブロック	4 週	関西医科大学総合医療センター（守口市） 関西医科大学附属病院（枚方市） 愛染橋病院（大阪市浪速区）
	産婦人科	ブロック	4 週	関西医科大学総合医療センター（守口市） 関西医科大学附属病院（枚方市） 愛染橋病院（大阪市浪速区）
	精神科	ブロック	4 週	関西医科大学総合医療センター（守口市） 光愛病院（高槻市）
地域医療	ブロック	4 週	榎原クリニック（大阪市大正区） ほんしょう内科クリニック（大阪市大正区） 大正病院（大阪市大正区） 関西医大くずは病院（枚方市）	
選択				研修医の自由選択による

※ 協力型臨床研修病院での研修期間は、研修医 1 人当たり 8 週以上とする

② その他

研修期間を通じて、院内感染や性感染症等を含む感染対策、予防接種等を含む予防医療、虐待への対応、社会復帰支援、緩和ケア、アドバンス・ケア・プランニング（ACP）、臨床病理検討会（CPC）等の研修を含める。また、感染制御チームや緩和ケアチーム、栄養サポートチーム、入退院支援チーム等の職種横断的な活動へ参加できるように配慮する。

③ 救急当直

救急当直は、本プログラムにおいてベースとなる救急医療とプライマリケアの修得の場であり、初期診断からその適切な治療までの一連の基本的診療を実地に研修する。全研修期間を通じて、原則として週 1 回程度の

救急当直を行うものとする。なお、救急研修中に診察した患者が、当該研修医が所属するローテート科へ入院する場合は原則として担当医となり、引き続き治療に当たりその経過を研修する。

<救急当直体制>

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1年目		翌朝まで・週1回 (指導医の監督下)										
2年目	翌朝まで・週1回 (First Call・指導医の監督下)						翌朝まで・週1回 (指導医の監督下・独り立ち)					

5. プログラム責任者

プログラム責任者： 大阪府済生会泉尾病院 総合内科 副院長 江口典孝

所在地： 〒551-0032

大阪市大正区北村3丁目4番5号

TEL 06-6552-0091 FAX 06-6553-8512

6. 研修施設

① 基幹型臨床研修病院

大阪府済生会泉尾病院 (030545) : 内科・救急・外科・一般外来

大阪市大正区北村3-4-5

管理者： 平居啓治

② 協力型臨床研修病院

関西医科大学附属病院 (050006) : 救急部・産婦人科・小児科

大阪府枚方市新町2-3-1

研修実施責任者： 金子一成

関西医科大学総合医療センター (030507) : 救急部・産婦人科・小児科・精神科

大阪府守口市文園町10-15

研修実施責任者： 木下利彦

愛染橋病院 (031798) : 産婦人科・小児科

大阪市浪速区日本橋5-16-15

研修実施責任者： 今井史郎

光愛病院 (032930) : 精神科

大阪府高槻市奈佐原4-3-1

研修実施責任者： 藤川昌典

③ 臨床研修協力施設

檜原クリニック（096984）：	地域医療
大阪市大正区泉尾 1-5-17	
研修実施責任者： 檜原秀一	
ほんしょう内科クリニック（188759）：	地域医療
大阪府大阪市大正区北村 1-17-7	
研修実施責任者： 本庄尚謙	
大正病院（031791）：	地域医療
大阪市大正区三軒家東 5-5-16	
研修実施責任者： 福本健治	
関西医科大学くずは病院（未定）：	地域医療
大阪府枚方市樟葉花園町 4-1	
研修実施責任者： 今村洋二	

7. プログラムの管理運営体制**① 指導医**

担当する分野における研修期間の終了後に、「研修医評価票（様式 18-20）」を用いて、研修医の評価をプログラム責任者に報告する。

② プログラム責任者

研修プログラムの企画立案及び管理並びに研修医に対する助言、指導その他の援助を行う。また、到達目標の達成度については、少なくとも年 2 回、研修医に対して形成的評価（フィードバック）を行う。臨床研修の終了の際には、研修管理委員会に対して研修医毎の目標達成状況を「臨床研修の目標の達成度判定票（様式 21）」を用いて報告する。

③ 研修管理委員会

研修プログラムの作成や調整、研修医の管理及び採用・中断・修了の際の評価など、臨床研修の実施の統括管理を行う。

8. 具体的事項**① 研修内容と到達目標**

「臨床研修の到達目標、方略及び評価」の「I 到達目標」に準拠して設定する。

② 教育に関する行事**1) オリエンテーション**

4 月 1 日付採用とし当初の 1 か月間は、コメディカルをはじめ看護部、事務部など各部門・部署での現場を体験し、病院組織とその機能を学び、医療チームの一員として円滑に臨床研修に臨めるように配慮している。

2) カンファレンス・研修会・セミナー

毎月 2-3 回のペースで研修医を対象としたイブニングセミナー（夕刻 1 時間）を開催し、医学的知識だけでなく医療倫理や保険診療など、医師として必須となる基本的事項の習得に努めている。また、各ローテート科で開催されるカンファレンスには参加を義務付けて発表の機会を与えている。加えて、病院

職員を対象とした安全管理や感染管理、コンプライアンスなどの研修会への参加も必須とし、幅広い知識の習得を促している。当然のことながら、不定期に実施される CPC の参加も必須である。

3) 学会発表

2 年間の研修期間中に、内科系学会（日本内科学会地方会等）および外科系学会において、各 1 回以上の発表を義務付けている。また、他病院との合同研究会への参加も積極的な参加を促し、発表の機会を設けるなど、プレゼンテーション能力の向上に注力している。

4) 緩和ケア研修会

2 年次には、PEACE による緩和ケア研修会への参加を義務付けている。これにより厚生労働省から公式の修了証が授与される。

5) 修了式

3 月下旬に 2 年次修了者には研修修了証を授与する。

③ 指導体制

研修医は各科の指導医の下に患者を受け持ち、主治医として診療に当たる。その際、電子カルテに所見・治療計画・入院診療計画・退院サマリー等を記載し、指導医の認証を得ようになっている。

④ 研修評価

研修医評価票（様式 18-20）及び臨床研修の目標の達成度判定票（様式 21）を用いて評価する。

⑤ 修了認定

毎年 2 月頃に実施する研修管理委員会において、研修医毎の達成度を検証・確認後、修了を認定する。

⑥ 修了後のコース

3 年次以降は、正規職員として当院の後期研修課程への道が開かれている他、大学病院または他病院へ進むことができる。なお、平成 30 年度から開始された内科新専門医制度においては、基幹施設に指定されている。

7. 研修医の待遇

身分	常勤嘱託医 (2年間)
給与	1年次 月額：305,000円 賞与：762,500円 2年次 月額：310,000円 賞与：775,000円
手当	通勤手当、時間外手当、宿日直手当等
年額報酬	1年次 約480万円 2年次 約520万円
勤務時間	平日 8:45～17:00 土曜日 8:45～13:30(隔週)
休暇	4週6休制 冬季休暇 (12月29日～1月3日)
社会保険	健康保険 厚生年金保険 雇用保険 労災保険
医師賠償責任保険	強制加入
宿舎	1ルーム型
食事	職員食堂利用可 (食費補助あり)
健康管理	定期健康診断を年2回実施
学会	参加可 年2回までの参加については参加費・旅費等を支給する
図書室	24時間利用可能